

令和7年（2025年）10月20日

保護者の皆様

札幌市立新川中学校

校長 南山 雅礼

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育に関しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。さて、4月に行われた全国学力学習状況調査につきまして、本校の結果に伴う概要がまとまりましたので、御報告いたします。本校ホームページにも掲載しておりますので、あわせて御覧ください。

[新川中学校ホームページ](#)

https://www16.sapporo-c.ed.jp/_view/shinkawa-j/home/index/zennkoku

【本年度の調査の概要】

◆目的 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であることに十分に配慮することが必要である。

◆調査対象 中学校第3学年

◆調査日時 令和7年4月16日（水）、17日（木）

◆調査事項

1 教科に関する調査（国語・数学・理科）

調査問題では、以下のアとイを一体的に出題している。

ア) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ) 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

調査問題では、上記の後意を一体的に問うこととし、出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

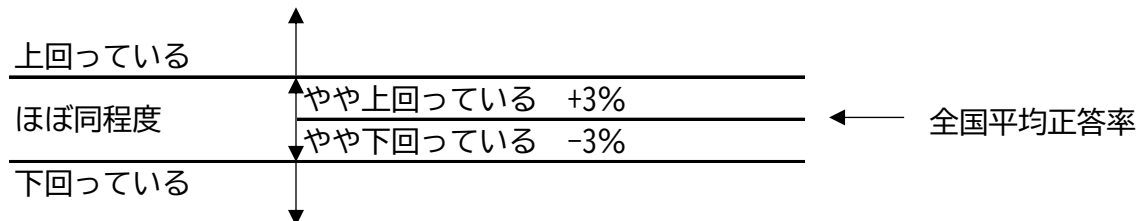
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施

R7 国語科 全国学力・学習状況調査結果分析

各教科の概要と課題、改善の方向についてお知らせいたします。なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解願います。

分類	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	区分及び領域	全国平均との差が大きかった項目についての課題	課題解決のための指導方法
知識及び技能	「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	文脈に即して漢字を使ったり、事象や行為を表す語句の意味を的確に理解したりすることに課題がある。	同音異義語の使い分けや副詞の意味について、実際にどのように日常で使われているかを想像しながら取り組む活動。
	「話すこと・聞くこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することに課題がある。	資料や機器の特徴を理解し、それらを生かしながら話す活動。
	「書くこと」 ▼全国平均より下回っている。	目的に応じて情報を整理することはできるが、相手に応じてわかりやすく伝える工夫や根拠を明確に提示することに課題がある。	書いた文章を互いに読み合って感想を伝え合うことを通して、相手に応じて根拠の提示や語句表現の工夫が必要であることを実感するような活動。
	「読むこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	登場人物の人物像を捉えることや表現の効果を説明することはできるが、文章の構成や展開について根拠を明確にして考えることに課題がある。	構成や展開の効果について理解した後、異なる構成や展開の文章と比較しながら読み進めることで、構成や展開の工夫を実感できるよう活動。

◎全国平均との比較について



※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

R7 数学科 全国学力・学習状況調査結果分析

各教科の概要と課題、改善の方向についてお知らせいたします。なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解願います。

分類	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	区分及び領域	全国平均との差が大きかった項目についての課題	課題解決のための指導方法
学習指導要領の領域	「数と式」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができる。	・条件を変えた課題に取り組み、成り立たない場合があることを体験する。 ・反例を自分で見つける活動の充実。
	「図形」 ◆全国平均より下回っている。	統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができる。	なぜそうなるのかを問い続ける指導と、証明の相互評価・改善を通じて論理的思考力と応用力を養う活動の充実。
	「関数」 ▼全国平均より下回っている。	1次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができる。	変化の割合をグラフ上で x が1増えたときの y の増え方を視覚的に捉え、公式を導き出す指導の充実。
	「データの活用」 ▼全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。	思考と結果の記録を通じ、傾向を数値化させるなど、実験結果から確率を導き出し、言葉で説明する活動の充実。

◎全国平均との比較について



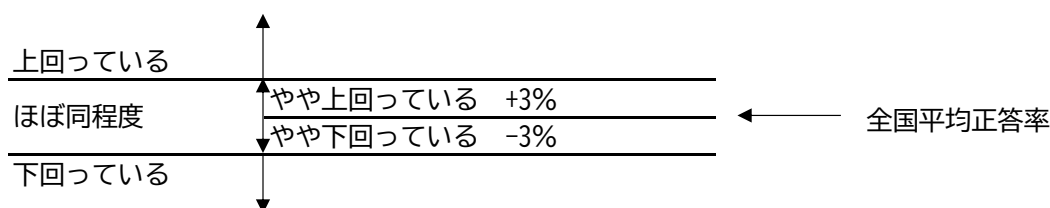
※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

R7 理科 全国学力・学習状況調査結果分析

各教科の概要と課題、改善の方向についてお知らせいたします。なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解願います。

分類	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
	区分及び領域	全国平均との差が大きかった項目についての課題	課題解決のための指導方法
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量との関係性に関すること。	・複数の変数を扱う問題（例：熱量＝質量×比熱×温度変化）を重視した活動の充実。 ・グラフを書いた際、単に値をよむのだけではなく、傾きや交点が「何を表しているか」を重視した活動の充実。
	「粒子」を柱とする領域 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すこと。	・視覚教材を多用し、化学変化の前後で原子が組み替わる様子を取り入れた活動の充実。 ・単体、化合物、分子、原子をそれぞれ定義し、生徒の身の回りにある具体例を挙げたり、構造の違いを可視化することで概念の混同を防ぐ。
	「生命」を柱とする領域 ▼全国平均より下回っている。	スケッチから分かる植物の特徴を基に植物の葉、茎、根のつくりに関する知識・技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について表現すること。	・人体や植物の器官を扱う際、系統図やフローチャートを用い、各器官がどのように連携し全体として生命活動を維持しているかを構造的に理解する。
	「地球」を柱とする領域 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識・技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析すること。	・鍵層（火山灰など）の標高を計算し、複数地点の柱状図を同じ高さに並べ替える作業を通じて、地層の傾きの方向を視覚的に学ぶ活動の充実。 ・粒子の大きさと堆積環境の対応表を参照し、堆積物の時系列を説明する活動の充実。

◎全国平均との比較について



※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

R7年度 全国学力・学習状況調査結果【生徒質問紙調査より】

肯定的な回答が80%以上のもの

※パーセントの数値は肯定的な回答の割合を示しています。

項目	質 問 事 項	新川中	全国平均
1	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97	95.9
2	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができますか	97	91.5
3	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	96	92.2
4	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96	96.6
5	人が困っているときは、進んで助けていますか	95	90.9
6	友達関係に満足していますか	94	91.4
7	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	93.9	91.5
8	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	93	91.9
9	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか (週1回以上の割合)	91.8	89
10	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてください	90.9	70.2
11	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	90.9	85.8
12	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.9	92.6
13	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	89.9	91.6
14	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができますか	89.9	83.6
15	1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	89.9	79.3
16	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	89.9	72.9
17	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	88.9	84.3
18	学校に行くのは楽しいと思いますか	87.9	86.1
19	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	86.9	79.2
20	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.9	88.3
21	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか	85.9	76.6
22	朝食を毎日食べていますか	85.8	91.2
23	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	83.9	83.8
24	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができますか	83.8	84.7
25	国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか	82.8	73.6
26	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	81.8	77.3
27	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか	80.8	74.8
28	国語の勉強は好きですか	80.8	57.9

肯定的な回答が50%以下のもの

項目	質 問 事 項	新川中	全国平均
29	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)※2時間以上の割合	39.4	32.5
30	理科の勉強は得意ですか	37.4	50.7
31	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)※30分以上の割合	23.2	21.4
32	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあります(習い事は除く)	21.2	29.5
33	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	20.2	21.7
34	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)※1時間以上の割合	9	13.7
35	新聞を読んでいますか	5	5.7

学習に係る視点

項目	質 問 事 項	新川中	全国平均
36	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)※1時間以上の割合	63.6	61.6
37	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)※1時間以上の割合	9	13.7
38	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)※2時間以上の割合	39.4	32.5

【人間尊重の教育・基本的生活習慣に係る視点】

- いじめは決して許されないことや、人が困っている時には助けてあげようという気持ちをもつことについて多くの生徒が肯定的な回答をしています。これらはどんな時代においても大切であることに変わりません。今後も家庭、地域との連携はもとより、札幌市学校教育の重点の基盤である「人間尊重の教育」を推進し、子どもたちの成長をとめないよう努めてまいります。（項目1,5）
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う子どもの割合は、全国平均と比べ、3.8%上回っています。（項目3）
- 友達関係に満足していると思う子どもの割合は、全国平均と比べ、2.6%上回っています。（項目6）
- 「毎日同じくらいの時間に起きている」「朝食を毎日食べている」と思う子どもの割合は、全国平均は下回っていますが、肯定的な回答が多く、ご家庭でのルール・習慣作りが大きく関与しているものと思われます。基本的生活習慣の支援については、学校と家庭の連携が必要不可欠です。今後も適切に連携を取りながら、生徒の健やかな育ちに寄与したいと思います。（項目12,22）

◇札幌市学校教育の重点の基盤である「人間尊重の教育」を推進してきた成果が表れてきています。今後も「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を関連させて取り組み、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに努めてまいります。

【課題探究的な学習に係る視点】

- 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと思う子どもの割合は、全国平均よりも10.6%上回っています。（項目15）
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う子どもの割合は、全国平均よりも2.3%増加しています。（新川中75.7%、全国73.4%）
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う子どもの割合は、全国平均よりも6%上回っています。（項目27）
- 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると、9割以上の子どもが回答しており、全国平均よりも1.1%上回っています。（項目8）
- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う子どもの割合は、全国平均よりも3.4%下回っています。（新川中59.6%、全国63%）
- 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたと思う子どもの割合は、全国平均よりも3.9%下回っています。（新川中66.7%、全国70.6%）

◇AARサイクル※の視点で、子ども一人一人の主体性を大切にした課題探究的な学習を推進してきた成果が表れてきています。

◆課題探究的な学習において、調べてまとめるだけでなく、ICTの有効活用やグループ発表での役割分担の工夫などを取り入れ、「発表を通して伝える力」を養うとともに、AARサイクルにおけるリフレクション（自らの学びや成長の振り返り）の場を一層充実していくよう努めてまいります。

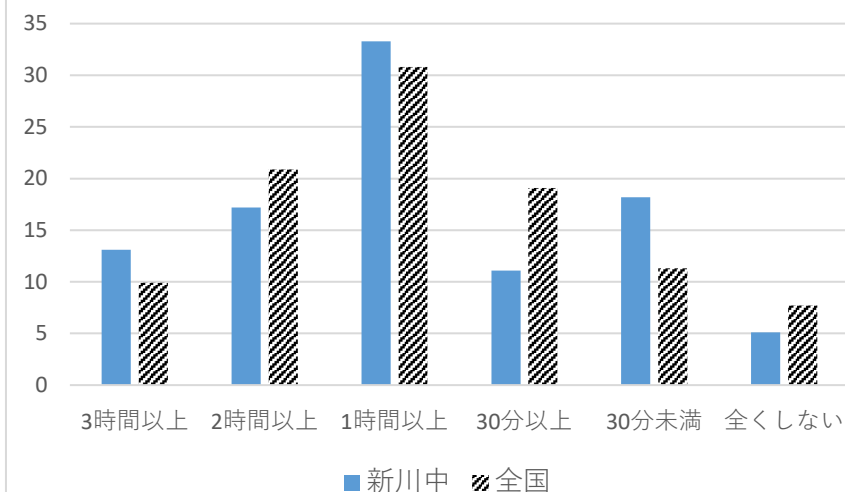
※Anticipation（見通し）、Action（行動）、Reflection（振り返り）からなる反復的な学習プロセス（OECDラーニングコンパス2030より）

【学習に係る視点】

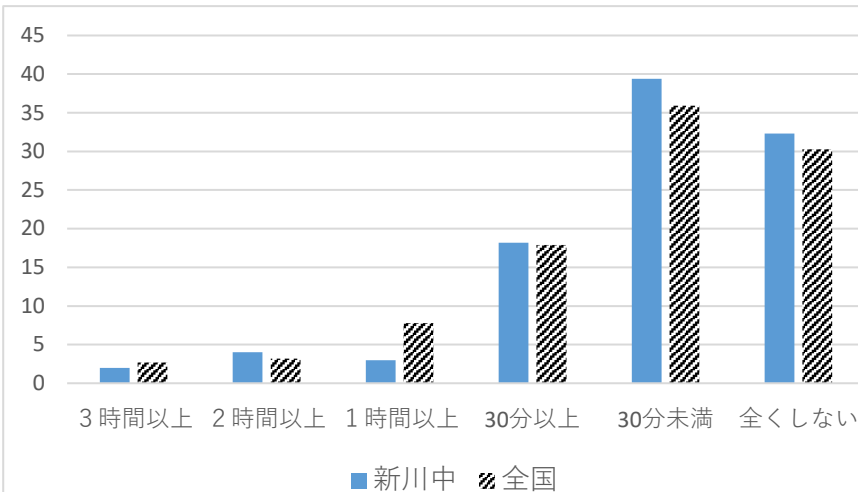
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますかという項目では、1時間以上と回答した子どもの割合は、全国平均よりも2.0%上回っています。（項目36）
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますかという項目では、2時間以上と回答した子どもの割合は、全国平均よりも6.9%上回っています。（項目38）

◇全国平均と比較しても、家庭学習をする時間は高い数値にあり、学習について、前向きな姿勢が見られます。これは、生徒一人一人の努力と、ご家庭での温かい御支援のおかげです（別紙参照）。家庭学習は、学力の向上だけでなく、自分で計画を立てて学ぶ力を育む大切な時間です。今後は「学習内容の工夫」や「反復学習」に取り組むことで、さらに効果的な学びへとつながっていきます。引き続き、ご家庭での学習環境づくりに御協力いただきながら、子どもの学習意欲を高める授業づくりをし、学習内容を確実に身に付けることができるよう努めてまいります。

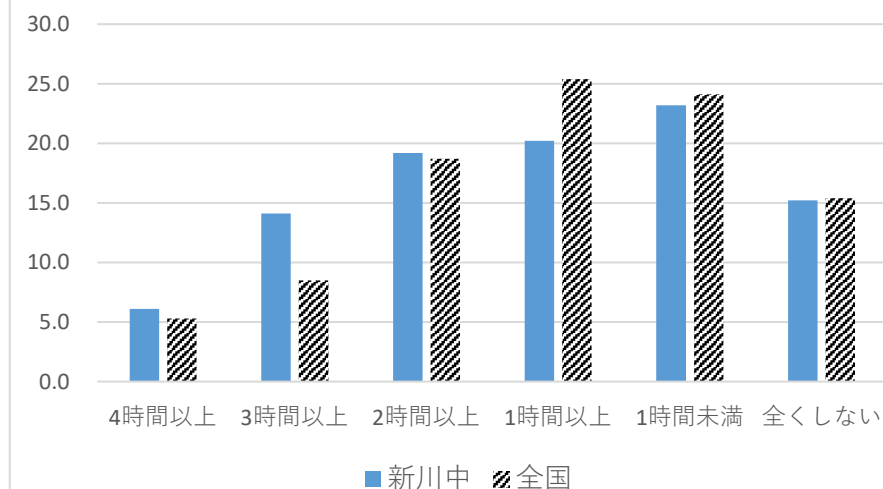
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

